

あめ ぼうず
雨ふり坊主

ゆめのきゅうさく
夢野久作

てんき つづ たんぼ みず ひ あ
お天気が続いて、どこの田圃も水が乾上がりました。

たろう とう ひやくしやう じぶん た いね か
太郎のお父さんも百姓でしたが、自分の田の稲が枯れそうになりまし
たので、毎日毎日外に出て、空ばかり見て心配をしておりました。

たろう がっこう かえ き かばん
太郎は学校から帰って来まして鞆をかたづけるとすぐに、

とう
「お父さんは」

たず
と尋ねました。

かあ せんたく
お母さんは洗濯をしながら、

いね か た み い
「稲が枯れそうだから田を見に行っていらっしゃるのだよ」

かな い
と悲しそうに云われました。

たろう おもて と だ た ところ い み とう しんばい
太郎はすぐに表に飛び出して田の処に行くと、お父さんが心配
そうに空を見て立っておいでになりました。

とう とう あめ ふ しんばい
「お父さん、お父さん。雨が降らないから心配してらっしゃるの」

たろう はし よ い
と太郎はうしろから走り寄って行きました。

「ウン。どっちの空を見ても雲は一つも無い。困ったことだ」

とう い くち くわ けむり
とお父さんはふりかえりながら言って、口に啣えたきせるから煙をプ
カプカ吹かされました。

「^{ぼく}僕^{あめ}が雨を^あふらして^あ上げ^まし^よう^かか」

^{たろう}と太郎は^{とう}お父^{かお}さんの^み顔^あを見^あげ^なが^ら、^まじ^めく^さつ^てこ^う云^いまし
た。

出典：青空文庫

http://www.aozora.gr.jp/cards/000096/files/914_13520.html

朗讀：You Tube

<https://www.youtube.com/watch?v=1A97d-dYZlg>